

着衣心理の分析

— 女子短大生の場合 —

中野 慎子

1. はじめに
2. 調査方法
イ, 対象
ロ, 時期
ハ, 方法
3. 結果と考察
4. むすび

1. はじめに

人間が着衣するとき、その着衣動機、また、着衣目的のいかんにかかわらず、着衣者たる人間の心的現象、すなわち、着衣心理が働く。それによって着衣者たる人間は、本来の着衣動機なり、着衣目的なりと異なった方向へ衣生活を進展させるように思われる。

衣生活の一要因として考えられるのは、衣服を作る人・着る人・見る人の三者であるが、いずれも別々の存在ではない。例えば、着る人は同時に、その差異はあるにしても作る人であり、見る人である。このように三者一体の複合的存在である。ただ、近年の産業構造の変動は、作る人としての着衣者を減少させつつある。それは、一面見る人としての着衣者を増加させることになる。筆者は、こうした社会環境の中で、着衣者がいかなる着衣心理状態にあるかを調査分析し、その実態を明らかにすることによって、将来の衣生活の在り方に役立てたいと思うものである。

2. 調査方法

- イ, 対象 相愛女子短期大学家政科被服専攻1年次生100名（在籍者中より無差別無作為に抽出した。）
- ロ, 時期 昭和43年6月15日より、22日までの期間。
- ハ, 方法 自記式質問票を配布し、回答を求めた。有効回答96、有効回答率96%。

着衣心理の分析

質問票は下記の通りです。

〔質問票〕

- 次の質問にお答えください。
- ① a, 普段着を着たときの気持ちはどうか。
b, 外出着を着たときの気持ちはどうか。
 - ② a, 派手な色柄の服を着たときの気持ちはどうか。
b, 地味な色柄の服を着たときの気持ちはどうか。
 - ③ a, 流行の服を着たときの気持ちはどうか。
b, 流行おくれの服を着たときの気持ちはどうか。
 - ④ a, 注文服を着たときの気持ちはどうか。
b, 既製服を着たときの気持ちはどうか。
 - ⑤ a, 個人の趣味や嗜好にあった服を着たときの気持ちはどうか。
b, 個人の趣味や嗜好にあわない服を着たときの気持ちはどうか。
 - ⑥ a, 新調の服をはじめて着たときの気持ちはどうか。
b, 少し着古した服を着たときの気持ちはどうか。
 - ⑦ a, スポーティなデザインの服を着たときの気持ちはどうか。
b, ドレッシーなデザインの服を着たときの気持ちはどうか。
 - ⑧ a, 柔らかい織物の服を着たときの気持ちはどうか。
b, 硬いこわばった織物の服を着たときの気持ちはどうか。
 - ⑨ a, 自分で縫った服で、自分なりに上手に仕上がった服を着たときの気持ちはどうか。
b, 自分で縫った服で下手に仕上がった服を着たときの気持ちはどうか。
 - ⑩ a, 制服を着たときの気持ちはどうか。
b, 私服を着たときの気持ちはどうか。

(注) 回答の仕方は、どんな表現でもかまいません。できるだけ詳しく、自分の気持ちを表現してください。

一般的に、質問票による調査の場合、あらかじめ回答を用意し、その中から選ばせる択一式質問法が多いが、それをあえてとらなかつた。それは、心的現象を表わすのに言語をもってしては充分でない。*ことばでは表わされない、ものが心的現象であると考えれば、択一式よりも自由記述式の方がよいと思ったのでこの方法に従った。また、a, b, と相反する項目を対比させることによって、自我を一層はっきりさせるように考えた。

3. 結果と考察

① a, 普段着を着たときの気持ちはどうか。

第1表にみられるように、「気楽な」(25), 「くつろいだ」(23), 「ゆっくりした」(15)は、類語であるが、これらは、回答の半ば以上を占めている。この心的状態につながるものは、「ほっとした」(6), 「リラックスな」(3), 「やすらいだ」(2), 「安心した」(2), 「のんびりした」(1), 「のびのびした」(1)である。また、「くつろいだ」気持ちの中で、「しわを気にしなくてもよいから」(1)とか、「汚れてもよいから」(2)といった理由づけがなされている。

一面「活動的な」(2)気持ちがあり、それは、「自由に行動したい」(1), あるいは、「解放された」(2)気持ちにつながる。そして、「軽快な」(1)気持ちになる。他に「だれる」(1)がある。しかし、全体的にみて、くつろいだ気楽さが普段着の着衣心理といえよう。

(第1表)

| 気 持 ち | 回答数 |
|----------|-----|
| 気楽な | 25 |
| くつろいだ | 23 |
| ゆっくりした | 15 |
| ほっとした | 6 |
| リラックスな | 3 |
| やすらいだ | 2 |
| 安心した | 2 |
| 活動的な | 2 |
| 解放された | 2 |
| 軽快な | 2 |
| のんびりした | 1 |
| のびのびした | 1 |
| 自由に行動したい | 1 |
| だれる | 1 |
| 何も思わない | 10 |

① b, 外出着を着たときの気持ちはどうか。

外出着を着たとき、「引締った」(16), 「緊張した」(15)「張り詰めた」(2)気持ちになる。この緊張感は、「心に張り」(2)を持たせ、身を「しゃんと」(8)させ、「しゃきっと」

(第2表)

| 気 持 ち | 回答数 | 気 持 ち | 回答数 |
|---------|-----|----------------------|-----|
| 引き締った | 16 | 改まった | 2 |
| 緊張した | 15 | 晴れやかな | 2 |
| うれしい | 14 | 自分が美しかったよ うな | 2 |
| しゃんとした | 8 | 気疲れする | 2 |
| 楽しい | 8 | 心に張りがある | 2 |
| 堅苦しい | 4 | 心がはずむ | 2 |
| 気取った | 3 | いそいそとした | 1 |
| 張り詰めた | 2 | さっそうとした | 1 |
| しゃきっとした | 2 | すっきりした | 1 |
| 窮屈な | 2 | すます | 1 |
| 少し気がひける | 2 | 落着いた | 1 |
| 少し気がはる | 2 | 皆の目が自分に注目し ているような | 1 |

(2)させる。また、「堅苦し
さ」(4), 「窮屈さ」(2)を
感じ、「気疲れ」(2)をする
こともある。しかし、外出着
は普段着と違って人前に出
る。すなわち、「はれ」の場
に出るのであるから、「改ま
った」(2)心になり、「晴れ
やかな」(2)気持ちにもな
る。装いをあらたにすると、
「自分が美しかったような
」(2), 「心のはずみ」(2)
を覚える。そして、「うれし

着衣心理の分析

さ」(14), 「楽しさ」(8), 「さっそうとした」(1)気持ちで場に臨む。「皆の目が自分に注目しているような」(1)錯覚を覚えることもある。

②a, 派手な色柄の服を着たときの気持ちはどうか。

(第3表)

| 気持 ち | 回答数 | 気持 ち | 回答数 |
|-----------------|-----|------------|-----|
| 楽しい | 18 | 何となく恥しい | 1 |
| 恥しい | 15 | 気おくれする | 1 |
| 人目が気になる | 13 | 人前に出るのがこわい | 1 |
| 気がひける | 9 | 着なければよかった | 1 |
| 皆がみているようで落ちつかない | 6 | 早く着替えたい | 1 |
| ちょっと恥しい | 4 | 開放的 | 1 |
| 落ちつかない | 4 | 大胆な | 1 |
| 晴々とした | 4 | 気持ちが大きくなる | 1 |
| うれしい | 2 | 活発な | 1 |
| すばらしい | 2 | そう快な | 1 |
| 自分が引き立ったような目立つ | 1 | すっきりした | 1 |
| | 1 | 明るい | 1 |
| | | (着ない) | 5 |

色柄の問題は、個人の趣味傾向に関連する。「恥しい」(15), 「ちょっと恥しい」(4), 「なんとなく恥しい」(1)と20%の人々が恥しさを感じている。これ程でなくても「気がひける」(9)と思う者, 「人目が気になる」(13)と訴える者, ひいては, 着衣しても「着なければよかった」(1)と反省したり, 「気おくれ」(1)ながら着るものもいる。「人前に出るのがこわい」(1)者もいる。また, 「

皆がみているので落ちつかない」(6), 「落ちつかない」(4)と, 10%の者がいう。以上過半数の者が派手な色柄の服に対して不満なり, 抵抗なりを感じている。一面「楽しい」(18), 「晴々とした」(4), 「すばらしい」(2), 「うれしい」(2), 「明るい」(1), 「そう快な」(1), 「すっきりした」(1)と回答している。派手な色柄からくる「開放的」(1)な気持ち, 「大胆な」(1)気持ち, そして, 「気持ちが大きくなる」(1), 「活発な」(1)で, それは, 「目立つ」(1), ひいては, 「自分が引き立つ」(1)ことにもなる。

以上, 95%の者は派手な色柄の服を着ているが, その過半数の者は抵抗を感じている点は注目すべきである。着ない者は, 「好かないから」(2), 「似合わないから」(1), 「わからないが着ない」(1), を理由として挙げている。

②b, 地味な色柄の服を着たときの気持ちはどうか。

「地味」とは, 〴〵はなやかでなく, ひかえ目なこと。飾り立てて人目をひこうとはしない態度、(岩波国語辞典)である。これは, 「落ち着いた」(31), 「しっとりとした」(1), 「どっしりとした」(1)気持ちの世界である。それは, 対象者の世代からみれば大人の世界と考えられているようである。地味な服を身につけることによって「大人になったような」(22)気持ちになる。また, 「急に年がいったような」(2), 「少しふけた」(2)気持ちになり, そして, 「年上にもみられたくない」(5)と思い, 「まわりの目を意識する」(2)者もいる。むろ

着衣心理の分析

ん、「何もない」(10)、「わからない」(8)といった回答も多くみられる。

一面、若い人にとっては「地味」は、「陰気な」(3)、「なんとなく暗い」(4)、「暗い」(2)、「いやな」(2)ものとしても受取られることもある。

③a, 流行の服を着たときの気持ちはどうか。

現在の流行着が商業政策の作為的な宣伝によるものであるとしても、人間がそれを着れば、着衣の心理が生まれる。「楽しい」(23)、「うれしい」(8)、「すてきな」(2)、「うきうきした」(2)、「よい気持ち」(10)になる。これは人間が新しさや変化を求める、すなわち、好奇心という人間の本能によるものだろうか。着ている人は、着ていない人に「優越感」(4)を感じ、「皆の先端に立ったような」(2)、「得意な」(4)気持ちは、「人にみせたい」(4)気持ちになり、「

胸をはって歩く」(4)行動となって表われ、「若々しい」(1)、「はつらつとした」(1)、「誇らしい」(1)気持ちは、自分自身にも「自信」(2)をもつようになる。しかし、この「満足

(第5表)

| 気 持 ち | 回答数 | 気 持 ち | 回数数 |
|-----------|-----|------------|-----|
| 楽しい | 23 | 皆の先端に立つような | 2 |
| よい気持ち | 10 | 自分にあっているかど | 2 |
| うれしい | 8 | うか不安 | 1 |
| 回りの目を意識する | 6 | 満足感 | 1 |
| 優越感 | 4 | はつらつとした | 1 |
| 人にみせたい | 4 | 誇らしい | 1 |
| 得意な | 4 | 若々しい | 1 |
| 胸をはって歩きたい | 4 | 少し気がひける | 1 |
| 恥しい | 4 | 恥しくていや | 1 |
| 自信 | 2 | 皆と同じような形なの | 1 |
| すてきな | 2 | で複雑な | 1 |
| うきうきした | 2 | 沢山着ている人を見て | 1 |
| | | 落ち着かない | 1 |
| | | 皆同じなので安心 | 1 |
| | | (着ない) | 10 |

にみえるから」(1)、「すぐ流行に飛びつく単純な人間に見られるようでいや」(1)だからと
 いった自意識からくるものもあるが、他は「人目が気になるから」(1)、「恥しい」(1)、「
 好きでない」(1)、といったのが理由としてあげている。

(第4表)

| 気 持 ち | 回答数 |
|------------|-----|
| 落ち着いた | 31 |
| 大人になったような | 22 |
| 何もない | 10 |
| わからない | 8 |
| 年上にみられたくない | 5 |
| 何となく暗い | 4 |
| 陰気な | 3 |
| 急に年がいったような | 2 |
| 少しふけた | 2 |
| 暗い | 2 |
| まわりの目を意識する | 2 |
| いやな | 2 |
| しっとりとした | 1 |
| 気がらくな | 1 |
| どっしりとした | 1 |

感」(1)は「皆と同じような
 形なので複雑な」(1)気持ち
 になり、「回りの目を意識す
 る」(6)結果、「皆と同じな
 ので安心」(1)なのか、「沢
 山着ている人を見て落ち着か
 ない」(1)のか、それには「
 恥しい」(4)気持ちのためな
 のか。流行着は着て楽しく、
 また、不安でもあるといった
 複雑な心理状態である。とこ
 ろで、10%の人は流行に対し
 て冷静である。「自分が馬鹿

着衣心理の分析

③b, 流行おくれの服を着たときの気持ちはどうか。

(第6表)

| 気持 | ち | 回答数 |
|-----------|---|-----|
| 恥しい | | 46 |
| いやな | | 18 |
| 気になる | | 4 |
| 気持ちがよくない | | 4 |
| 沈んだ | | 4 |
| 知人に会いたくない | | 4 |
| みじめな | | 3 |
| 皆に取り残された | | 3 |
| 不愉快な | | 2 |
| もう着ないでおこう | | 2 |
| 何ともない | | 2 |
| 楽しくない | | 1 |
| 肩身が狭い | | 1 |
| 憂うつな | | 1 |
| 道を歩くのもいやな | | 1 |

流行おくれの服を着ることは、「気になる」(4)ことで、「恥しい」(46)思いを半数の者がしている。そして、「いやな」(18)気持ち、「不愉快」(2)で、「気持ちがよくない」(4)、ひいては「憂うつ」(1)で、「肩身が狭い」(1)、「知人に会いたくない」(4)、「みじめな」(3)、「沈んだ」(4)気持ちになる。「道を歩くのもいやな」(1)「もう着ないでおこう」(2)と思う。これらは、流行着を着た人の「優越感」と表裏をなす「劣等感」で、「皆に取り残された」(3)気持ちである。

以上を考えると、心理的な不満は時には劣等感さえ感じさせるのであるが、それでいて着衣しないという回答がない。これは現実の衣生活の中で流行おくれの衣服がなんらかの形で着られているものとみてよい。「何ともない」(2)人の理由としては、「私はこの服が好きだから人はどういおうと平気」(1)であり、「自分の好きなものであれば余り気に

ならない」(1)というのである。流行にとらわれない者も少しはいる。

④a, 注文服を着たときの気持ちはどうか。

既製服が決められた寸法の

(第7表)

服に身体を合わせるのに対して、注文服は身体に合わせて服を作るから「身体に合って気持ちがよい」(28)、「身体に合っていてうれしい」(22)のである。要求が満された満足感である。また、注文服のデザインは注文者によっておおむね決定される。そこには、決め

| 気持 | ち | 回答数 | 気持 | ち | 回答数 |
|--------------|---|-----|---------------|---|-----|
| 身体に合って気持ちがよい | | 28 | 恥しい | | 2 |
| 身体に合っていてうれしい | | 22 | 堂々とした | | 1 |
| うれしい | | 9 | モデル気どり | | 1 |
| 安心感 | | 8 | 満足 | | 1 |
| いやな | | 5 | 優越感 | | 1 |
| 何ともない | | 5 | 胸をはって歩く | | 1 |
| 楽しい | | 4 | 自分の服を着たというような | | 1 |
| 自慢したい | | 3 | 引き締った | | 1 |
| 緊張する | | 3 | | | |

られた型の中から選ぶのではなく、創造した喜びの「うれしさ」(9)、「楽しさ」(4)がある。「自分の服を着たというような」(1)気持ち、借り物でない自分のものといったこの喜びの気持ちは、「安心感」(8)につながる。注文服が個性的であることは、「優越感」(1)を感じ、「自慢したい」(3)気持ちにかられる。これ程でなくても、「堂々と」(1)、「モデル気どり」(1)で「胸をはって歩く」(1)ことになる。注文服を好まない人もいる。それは、「い

着衣心理の分析

やな」(5)気持ちと答えた人である。その理由はわからない。良いものを着ると、「緊張する」(3)とか、「引き締った」(1)気持ちになるとか、身にそぐわないから「恥しい」(2)といったところかも知れない。

④b, 既製服を着たときの気持ちはどうか。

既製服は、着衣者のサイズを服に合わせて選ぶことが第一である。「身体に合っているとうれしい」(14)し、「身体に合わないのでいやな」(22)のである。40%近い人が身体に合うか合わないかについて気を使っている。「デザインが豊富で楽しい」(1)と答えた者もいるが、既製服は、同一のものを大量生産するのであるから、常に「同じものを着ている人がいるような気がしていやな」(22)気持ちから抜け出せない人が多いのはやむを得ない。こんなところに「少し抵抗を感じる」(3)し、「何となく落ち着かなさ」(3)を感じ、既製服が「あまりパットしない」(1)ということになる。しかし、「安く買えてうれしい」(2)というのも既製服ならではである。「自分に気に入ったのであれば何ともない」(11),あるいは、「何ともない」(12)と20%あまりの人が何の抵抗もなく既製服を着ていることは時の流れとはいえ注目してよい。

(第8表)

| 気 持 ち | 回答数 |
|-------------------------|-----|
| 同じものを着ている人がいるような気がしていやな | 22 |
| 身体に合わないのでいやな | 22 |
| 身体に合っているとうれしい | 14 |
| 何ともない | 12 |
| 自分の気に入ったのであれば何ともない | 11 |
| どこかたよりない | 3 |
| 少し抵抗を感じる | 3 |
| 何となく落ち着かない | 3 |
| 安く買えてうれしい | 2 |
| 新しい服だとうれしい | 1 |
| あまりパットしない | 1 |
| デザインが豊富で楽しい | 1 |
| 少し気になる | 1 |

⑤a, 個人の趣味や嗜好にあった服を着たときの気持ちはどうか。

(第9表)

| 気 持 ち | 回答数 | 気 持 ち | 回答数 |
|----------|-----|-------------------|-----|
| うれしい | 23 | デートしたい | 1 |
| 楽しい | 22 | すかっとした | 1 |
| 気持ちがよい | 16 | 誇らしい | 1 |
| 満足感 | 10 | 何をするにも自信が出てくる | 1 |
| みせて歩きたい | 4 | 自分がよく見える | 1 |
| いい感じ | 3 | 人にみせたい | 1 |
| 安心 | 3 | 自分のセンスを批判されているような | 1 |
| うきうきした | 2 | 人が何と思おうと変らない | 1 |
| 自己満足 | 2 | | |
| いつまでも着たい | 2 | | |
| 心がはずむ | 1 | | |

「うれしい」(23), 「楽しい」(22), 「気持ちがよい」(16), 「いい感じ」(3), そして、「満足感」(10)を覚えるのはいうまでもない。たとえばそれが「自己満足」(2)であっても、「心がはずみ」(1), 「デートしたい」(1), 「うきうきとした」(2)気持ちはおさえられない。「いつまでも着たい」(2)し、「みせて歩きたい」(4), 「人にみせたい」(1)気持ちになる。

着衣心理の分析

また、「自分がよく見える」(1)と思う。「何をするにも自信が出て来る」(1),「人が何と思おうと変わらない」(1),しかし,「自分のセンスを批判されているような」(1)ものと思っ
て慎重に対処する者もある。総じて,趣味や嗜好に合ったものを着たときの心理的な満足感
がみられる。

⑤b, 個人の趣味や嗜好にあわない服を着たときの気持ちはどうか。

(第10表)

| 気 持 ち | 回答数 |
|-------------|-----|
| いやな | 31 |
| 恥しい | 7 |
| 早く着替えたい | 5 |
| 落ちつかない | 4 |
| 二度と着たくない | 4 |
| 不愉快 | 3 |
| 誰れにも見られたくない | 3 |
| なにかしっくりしない | 2 |
| 人の目を気にする | 1 |
| 憂うつ | 1 |
| (着ない) | 35 |

着ない者が1/3を占めている。個人の趣味・嗜好であるから
合わないものは「着たくない」(16)を理由に挙げている。た
とえ,着たとしても「いやな気持ち」(31)で,「早く着替え
たい」(5),「二度と着たくない」(4)と思う。「不愉快」
(3)だし,「誰れにも見られたくない」(3),見られること
は「恥しい」(7)といったところである。心理的不満は隠し
難い。

⑥a, 新調の服をはじめて着たときの気持ちはどうか。

新調の服を着た時の気持ちとして60%以上の人
が端的に「うれしい」(47)とか,「楽しい」(19)とか答えた。それは,
「何ともいえないよい」(3)気持ちである。「最高の幸せ」

(1)であり「夢と希望とこの上ない幸福が私を包む」(1)のである。「何度も鏡の前に立っ
て心はずませ」(1)たり,「緊張感とうれしさ」(1)の入り

(第11表)

| 気 持 ち | 回答数 | 気 持 ち | 回答数 |
|-----------|-----|-----------------------|-----|
| うれしい | 47 | 人の多い所を歩きたい | 1 |
| 楽しい | 19 | 自慢したい | 1 |
| 人に見せたい | 5 | 何度も鏡の前に立っ て心はずむ | 1 |
| 恥しい | 4 | 人の目が気になる | 1 |
| フレッシュな | 3 | 緊張感とうれしさ | 1 |
| 晴れやかな | 3 | 緊張感 | 1 |
| 何ともいえないよい | 3 | 最高の幸せ | 1 |
| てれくさい | 3 | 夢と希望とこの上ない 幸福が私を包む | 1 |
| 自分をみなおす | 1 | | |

しかし,「てれくさい」(3)気持ち,「恥しい」(4)気持ちにもなる。端的に「うれしい」とか
「楽しい」とか答えられる反面,いろいろと複雑な心的現象がみられる。

⑥b, 少し着古した服を着たときの気持ちはどうか。

「何とも思わない」が(64)も回答された。「何とも思わない」理由に,「好きな服だから」

着衣心理の分析

(29), 「自分にあっているから」(11)など挙げられている。少し着古した服が外出着か家庭着かによって気持ちが違ってくると思われる。外出着として着るときは、「人から見られるような」(4),あるいは、「人の目が気になる」(4),そして、「みじめさ」(2)を感じ、「いやな感じ」(6)になる。「もののあわれを感じる紫式部の心境」(1)とはどういう気持ちを表現したのであろうか。家庭着として着るときは、その服に「愛着心」(8)もあり、「楽な」(2)気持ちで着れるものと思われる。しかし、一般的に少し古くなった程度であれば着ているのが普通で「何とも思わない」のかも知れない。いずれにしても心理的な抵抗なり不満なりは少ない。むしろ、その事に気づかずにいるように思われる。

(第12表)

| 気 持 ち | 回答数 |
|----------------------|-----|
| 愛着心 | 8 |
| いやな感じ | 6 |
| 人から見られるような | 4 |
| 人の目が気になる | 4 |
| 少し気になる | 2 |
| 楽な | 2 |
| 安心 | 2 |
| みじめな | 2 |
| 早く新しいのを着たい | 1 |
| もののあわれを感じる 紫式部の心境 | 1 |
| 何とも思わない | 64 |

⑦ a, スポーティなデザインの服を着たときの気持ちはどうか。

(第13表)

| 気 持 ち | 回答数 | 気 持 ち | 回答数 |
|----------|-----|----------------------|-----|
| 活発な | 24 | 似合わない | 2 |
| 軽快な | 19 | ハイキングや海へ行き たい | 2 |
| 活動的な | 18 | サングラスをかけてド ライブしたい | 1 |
| 動きたくなる | 7 | 地球を一周したい | 1 |
| 若々しい | 4 | 快活な | 1 |
| 楽しい | 3 | 明るい | 1 |
| はつらつとした | 2 | 騒ぎたい | 1 |
| 心がはずむ | 2 | おおらかな | 1 |
| 心がすっきりする | 2 | おきゃんな娘になっ たような | 1 |
| 軽ろやかな | 2 | | |
| 運動したくなる | 2 | | |

スポーティな服を身に着けたとき、「活発な」(24),「軽快な」(19),「活動的な」(18),「軽ろやかな」(2),「快活な」(1)など動きを表わすことばで気持ちが表現される。そして、はっきりと「運動したくなる」(2),「動きたくなる」(7)と行動へ移る気持ちから、「ハイキングや海へ行きたい」(2),「サングラスをかけてドライブし

たい」(1),「地球を一周したい」(1)といった「おきゃんな娘になったような」(1),「おおらかな」(1),「明るい」(1),「心がはずむ」(2),「はつらつとした」(2),「若々しい」(4),「楽しい」(3)気持ちで一杯になる。衣服は人の心を変える要素をもっているのかも知れない。

⑦ b, ドレッシーなデザインの服を着たときの気持ちはどうか。

川柳に、「いい着物着るとうちでもかきこまり」というのがある。スポーティな服を着たときの「活発さ」に比べて、ドレッシーな服を着たとき同じ人間でも様子が変わるものである。

着衣心理の分析

(第14表)

| 気持 | ち | 回答数 | 気持 | ち | 回答数 |
|-----------------|---|-----|---------------------------|---|-----|
| 落ちついた気分 | | 28 | きどった | | 2 |
| 女らしくなった感じ | | 16 | よそよそしい | | 1 |
| 優雅な | | 12 | ひきしまる | | 1 |
| 大人になった感じ | | 11 | ひかえ目で女らしい態度 をとりたくなるような | | 1 |
| おとなしい | | 10 | 性質もおとなしくなっ たような | | 1 |
| しとやかな | | 6 | 似合わないから恥しい | | 1 |
| ちょっとすましてみた い | | 3 | 意識しない | | 1 |
| パーティなどに行きた い | | 2 | | | |

「落ちついた気分」(28)に
なり、「女らしく」(16),「
優雅な」(12),「おとなしい」
(10),「しとやかな」(6),
「ひかえ目で女らしい態度を
とりたくなるような」(1),
「性質までおとなしくなっ
たような」(1)ことになる。ま
た,「大人になった感じ」
(11)もし,少し「きどって
(2)みたくもなり,「パーテ

ィーに行きたい」(2)とも思う。「似合わないから恥しい」(1)と思う者もいるが,他のすべ
での者は,改まった気持ちで自分のものにしてしているようである。

⑧a, 柔らかい織物の服を着たときの気持ちはどうか。

柔らかい織物は,感覚的に
は「肌ざわりがよい」(14),
ふわふわした感じ」(4)で「
着心地がよい」(3),すなわ
ち,「気持ちがいい」(16)の
である。また,柔らかい感じ
は,「女性らしい」(8)感じ
を与える。そして,「優雅な
」(6),「女らしいしとやか
な」(5)気持ちを感じる。更
に「天使のような」(2),気
持ち,「ソフトな夢心地」(2),

(第15表)

| 気持 | ち | 回答数 | 気持 | ち | 回答数 |
|--------------------|---|-----|--------------------|---|-----|
| 気持ちがよい | | 16 | 動きやすい | | 3 |
| 肌ざわりがよい | | 14 | 別れない | | 3 |
| 身体の線をよく表わす のでいや | | 11 | さわやかな | | 2 |
| 女性らしい | | 8 | 天使のような | | 2 |
| 身体の線が出ないか気 になる | | 7 | 着やすいが型くずれが 気になる | | 2 |
| 優雅な | | 6 | ソフトな夢心地 | | 2 |
| 女らしくしとやか | | 5 | 軽くなったような | | 1 |
| ふわふわした感じ | | 4 | はずむような | | 1 |
| 着心地がよい | | 3 | 何となくリラックスな | | 1 |
| 楽な | | 3 | 踊りたくなるような | | 1 |
| | | | 心豊かな | | 1 |

「踊りたくなるような」(1),「何となくリラックスな」(1)ムードに誘われる。しかし,「
身体の線が出ないか気になる」(7)し,「身体の線をよく表わすのでいや」(11)だと言われ
る。また,「着やすいが型くずれが気になる」(2)と言ったように,布地からくる感じと,服
としての実用性から見るのとは心的現象に相違がある。これは,デザイン上や被服構成に際
し,この心的現象を考慮に入れるべきだと考える。

着衣心理の分析

⑧b, 硬いこわばった織物の服を着たときの気持ちはどうか。

硬いこわばった織物は、「肌ざわりが硬くいや」(19)がられる。「体が固くなったような」(2), 「ぎこちない」(2), 「固い感じ」(2)がする。それは、心を「引き締め」(5), 「緊張させ」(1), 「しゃんとさせる」(11)が、なんだか「重苦しい」(8), 「動きにくい」(5), しっくりと「落ちつかない」(3), すなわち、「体になじまない

(第16表)

| 気 持 ち | 回答数 | 気 持 ち | 回答数 |
|--------------|-----|---------------------|-----|
| 肌ざわりが硬くていや | 19 | 別れない | 3 |
| しゃんとする | 16 | 体が固くなったような | 2 |
| 身体の線が出ないのでよい | 11 | ぎこちない | 2 |
| 重苦しい | 8 | 固い感じ | 2 |
| しわがよらないか気になる | 7 | 体になじまないような感じ | 1 |
| 活発な | 5 | 緊張する | 1 |
| 引き締った | 5 | 動作が大きく気持ちもこれに伴って活発な | 1 |
| 動きにくい | 5 | 冷たく永のごとくときすまされた感じ | 1 |
| きらい | 3 | 顔がつんとすましているような | 1 |
| 落ち着かない | 3 | | |

ような感じ」(1)なのかもしれない。ただ、「身体の線が出ないのでよい」(11)は柔かいものより満足出来るようである。しかし、「しわがよらないか気になる」(7)。硬さから「動作が大きく気持ちもこれに伴って活発な」(1)のか、「活発な」(5)気持ちもみられる。

以上、硬さは柔らかさに比べ不満な点が多いように思われる。

⑨a, 自分で縫った服で、自分なりに上手に仕上がった服を着たときの気持ちはどうか。

(第17表)

| 気 持 ち | 回答数 | 気 持 ち | 回答数 |
|-----------|-----|--------------|-----|
| うれしい | 37 | 自信 | 1 |
| 見せたい | 13 | 得意な | 1 |
| 満足感 | 9 | 得意満面 | 1 |
| 自慢したい | 8 | はればれとした | 1 |
| どこへでも行きたい | 6 | 堂々とした | 1 |
| 誇らしい | 5 | 最高の幸せ | 1 |
| 優越感 | 3 | 世の中で一番きれいな感じ | 1 |
| 気持ちがよい | 3 | いつまでも着ようと思う | 1 |
| 安心出来る | 2 | | |
| 楽しい | 2 | | |

創造の喜びは、人間の喜びの中でも最も大きな喜びの一つである。自分で縫った服、それも自分なりに上手に縫ったこと自体「うれしい」(37), 「満足感」(9)に浸るのはいうまでもない。あふれる感情、は、人に「見せたい」(13), 「自慢したい」(8), 「誇らしい」(5), そして、「自信」(1)と「得意」(1)

と、この「はればれとした」(1), 「得意満面」(1)な「最高の幸せ」(1), 「いつまでも着ようと思う」(1), 「世の中で一番きれいなものと感じ」(1)る。「堂々と」(1), 「どこへでも行きたい」(6), そして、「優越感」(3)に浸る者もいる。全く「気持ちよい」(3), 満足感の自然表現である。

着衣心理の分析

⑨b, 自分の縫った服で, 下手に仕上がった服を着たときの気持ちはどうか。

(第18表)

| 気 持 ち | 回答数 |
|-----------------|-----|
| 恥しい | 11 |
| 人に見られないかと心配 | 8 |
| 情けない | 7 |
| 憂うつ | 6 |
| ひけ目を感じる | 5 |
| 二度と作らない | 3 |
| がっかり | 2 |
| 自己嫌悪 | 2 |
| 自分では作らないでおこう | 1 |
| 未熟だと思うしかし, 満足した | 1 |
| 堂々と着る (着ない) | 49 |

回答は高校時代の制服を着たときの気持ちである。制服は「学生という感じ」(25), すなわち, 学生としての自覚, 「誇りをもつ」(2)ことと「緊張感」(12), 「引き締った」(25)気持ちにさせるので, 一面, 「束縛されているような」(15)気持ち, 「重苦しい」(2), 「少し窮屈な」(8)気持ちにもさせるが, 制服は多数の者に学生としての心の拠り所を持たせているようである。

⑩b, 私服を着たときの気持ちはどうか。

(第20表)

| 気 持 ち | 回答数 |
|----------|-----|
| 解放感 | 38 |
| 自由な | 18 |
| 楽になる | 14 |
| 個性的すぎる | 9 |
| 別がない | 5 |
| 回りに気づかう | 3 |
| 落ち着く | 3 |
| 大人になった感じ | 3 |
| うきうき楽しい | 2 |
| はればれする | 1 |

上手に仕上がった喜びは大きいだけに, 下手に仕上がったものに対する「自己嫌悪」(2)はこれまた大きい。半数のものは「着ない」(49)。着た者たちも, 「恥しい」(11)さを覚え, 「人に見られないかと心配」(8)し, 「情けなく」(7)「がっかり」(2)し, 「憂うつ」(6)になり, 「ひけ目を感じ」(5)て, 「二度と作らない」(3)とさえ思う者もいる。むしろ, 「堂々と着る」(1)者, 「未熟だと思う, しかし, 満足した」(1)者もいるが全体として心理的には不満足である。

⑩a, 制服を着たときの気持ちはどうか。

この項目は, 本学に制服はないが, 高校生活から大

(第19表)

| 気 持 ち | 回答数 |
|---------------|-----|
| 引き締る | 25 |
| 学生という感じ | 25 |
| 束縛されているような | 15 |
| 緊張感 | 12 |
| 少し窮屈な | 8 |
| 安心感 | 3 |
| 誇りをもつ | 2 |
| 重苦しい | 2 |
| 意識しなくてすむ | 1 |
| きりっとした | 1 |
| 学校の名誉を汚さないような | 1 |
| いかにも学生らしい | 1 |

学生生活へ入って3か月の学生ということで設けた。回

格である。だから「個性的すぎる」(9)という者がいるのである。それだけに束縛がなく「解放感」(38)がある。「自由な」(18)のである。

(注) ⑩a, bについては<神田美年子「女子高校生制服の時代的推移—阪神間私立女子高校生制服の実態調査に基づく考察。—相愛女子大学・相愛女子短期大学研究論集第8巻第2号 P61~68 を参照せられたい。>

着衣心理の分析

4. む す び

今回は、着衣者の着衣心理を女子短大生を対象に調査した。調査結果は、各項目にそれぞれ纏めて考察したので改めて述べない。ただその回答はおおむね一般社会通念と大きくは違ってはいなかったが一応着衣心理の状態を調査分析し得たと考える。

なお、場所、時間、目的なども少し詳細に質問することによって深層心理の解明になると考えられるので、次回は、今回のものを基本として更に詳細な調査を試みるつもりである。本研究で本学の神田美年子助教授のご指導をいただいた。付記して厚く御礼申し上げます。